

アクリルカチオン系一材型下地調整塗材

一材型 EG タイプ **A3プライマー・EG**

A3プライマー・EGは、特殊セメント系パウダーにアクリルカチオン系特殊粉末樹脂を配合した完全プレミックスの一材型ポリマーセメントモルタルです。弊社の独自技術により、低温環境での養生期間を短くすることが可能となり、工期短縮を可能にしました。また、下地コンクリートの中性化を抑制するとともに、上塗材との接着を強固なものにします。

特長

- ▶ 作業性 オールプレミックスタイプのため、現場で適正量の水を加えて練り混ぜるだけで使用できます。
- ▶ 施工性 ポリマーセメント特有のコテ塗り時のベタツキを解消し、コテ伸びやコテ離れに優れています。
- ▶ 接着性 アクリルカチオン系特殊粉末樹脂を豊富に配合しているため、コンクリート下地への接着性に優れています。
- ▶ 早強性 低温環境においても、20℃環境と同等の初期強度が得られるため、次工程までの養生期間を短くすることができ、工期短縮が可能です。
- ▶ 仮防水 緻密なセメント硬化体と樹脂の造膜により仮防水機能[※]を発揮します。
※仮防水機能の詳細は別途資料を参照して下さい。
- ▶ 高品質 JIS A 6916建築用下地調整塗材の品質規格に適合しており、下地調整塗材の種類にあるC-2に適合したシゴキタイプ、CM-2に適合した標準タイプがございます。

用途

- ▶ 外装仕上げ前の下地調整塗材として
- ▶ 防水施工前の不陸調整として
- ▶ 軽微なジャンカやピンホールの補修材として

配合及び材料使用量

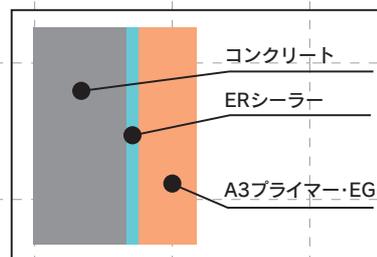
● A3プライマー・EG

| タイプ | | シゴキ | 標準 |
|---|------|-----------------|-----------------|
| 標準塗厚 | | 1~3mm | 3~10mm |
| 荷姿 (配合) | 粉体 | 20kg | 20kg |
| | 水 | 3.2~4.2kg | 2.6~3.3kg |
| 塗り厚別 材料 使用量 (kg/m ²) | 1mm | 1.66 | - |
| | 2mm | 3.32 | - |
| | 3mm | 4.98 | 5.22 |
| | 5mm | - | 8.70 |
| | 10mm | - | 17.40 |
| 積算比重 | | 1.660 | 1.740 |
| 練上り量 | | 12.05 ℓ | 11.49 ℓ |
| 1m ³ 使用量 | | 1660kg (83袋) | 1740kg (87袋) |

● ERシーラー[新旧打継用エマルジョンプライマー]

| ERシーラー | 水 | m ² 使用量 | 施工面積 |
|---------|-----------|--------------------|-------------------|
| 18kg(1) | 27kg(1.5) | 0.2kg | 225m ² |
| 4kg(1) | 6kg(1.5) | (積算0.08kg) | 50m ² |

● 施工図



● 荷姿

A3プライマー・EG
・粉体20kg

ERシーラー
・18kg缶 ・4kgポリ容器



施工要領

① 下地処理

脆弱部や付着物の除去、表面研磨、亀裂処理等下地調整材の性能が低下しないように充分な下地処理を行う。また、タイル面等の吸水のない下地に施工する必要がある場合は、事前にA1プライマー・EGを塗布する。

② 吸水調整

吸水のある下地に施工する場合、ドライアウトやふくれの可能性があるため、ERシーラーでシーラー処理を行う。標準塗布量は0.20kg/m²(ERシーラー1：水1.5)。

※下地の吸水が激しい場合等はこの限りではありません。

吸水が収まるまでERシーラーを塗布して下さい。

③ 混練

規定量を計量し、ハンドミキサーやモルタルミキサーで混練する。

攪拌時間の目安は2～3分程度※とする。(低速ミキサー推奨)。

材料が均一になったら過度の攪拌はしない。

攪拌時間はミキサーの種類、回転数や混練量等により調整する。

※低速ミキサー使用、混練量1/2～1袋以上の場合。

④ 塗り付け

ERシーラーが指乾乾燥したことを確認し、A3プライマー・EGを塗り付ける。

塗り付けは、コテ圧をかけて下地にしごき付けてから、所定の厚みに塗り付ける。(最大施工厚シゴキ3mm、標準10mm)。モルタルの締り状態を確認し、適宜に金コテを用いて表面を平滑かつ緻密に仕上げる。

⑤ 養生

風雨や直射日光を避けて1日以上養生する。

※施工後に仕上材を施工するまでの養生期間は、水系仕上材の場合1日以上、溶剤系仕上材の場合3日以上として下さい(5℃以上環境下)。

●使用上の注意

- ご使用に際してはSDS(安全データシート)をよく読んで下さい。SDSの入手は購入先にご依頼下さい。
- 本製品は粉末樹脂およびセメント系無機質粉体の組み合わせで形成されています。製品中のセメント成分の性質上、現場条件によっては白華現象(含有成分の析出)が起こる可能性がありますので、施工後は結露・雨水等の水分が付着しないように適切な養生を行って下さい。
- シーラー処理が不十分であるとドライアウトやふくれの防止ができません。特に、吸水の激しい下地についてはERシーラー塗布・乾燥後に水を吹きかけて、すぐに吸水しないことを確認して下さい。
- 製品は直射日光、湿気を避け5～35℃で保管して下さい。
- 防錆仕様の場合は、1袋につき400gのアルカド(亜硝酸リチウム水溶液)を配合して下さい。その際は混練水量の調整が必要となります。
- 高温時、練上がり温度は35℃以下(望ましくは30℃以下)になるように冷水等で調整して下さい。
- 長時間の直射日光が当たる場合や強風の場合はシート養生を行って下さい。
- 気温が5℃以下になる場合は施工を避けて下さい。
- 低温時、凍害の恐れがある場合には採暖や養生シートなどで養生を行って下さい。
- 混練にアルミ製の羽根は使用しないで下さい。
- 混練に高速ミキサーを使用した場合は、エアの巻き込みにより強度が低下することがあります。
- 練り始めは、配合された粉末樹脂が再乳化するまでに時間がかかるため硬い性状を示しますが、混練により粉末樹脂が再乳化すると次第に軟らかい性状に変化します。過度に混練水を追加しないようご注意下さい。
- 練り水は水道水水質と同等のものを使用して下さい。不純物が硬化時間等に影響することがあります。
- 開封した製品は、即日中に使い切るか、余った場合は、ビニール袋等に密封し、開封後一週間以内に使用して下さい。性能低下の恐れがあります。
- 廃棄する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して下さい。

性能

| 試験項目 | 試験結果 | | 品質基準 (JIS A 6916-2014) | |
|---|-------------|--------------|------------------------|--------|
| | A3プライマー・EG | | 下地調整塗材 | |
| | シゴキ (C-2) | 標準 (CM-2) | C-2 | CM-2 |
| 軟度変化 (%) | 5 | -1 | -20～20 | |
| 耐ひび割れ性 | ひび割れなし | ひび割れなし | ひび割れがない | |
| 耐衝撃性 | ひび割れ及び剥がれなし | ひび割れ及び剥がれなし | ひび割れ及び剥がれがない | |
| 曲げ強さ (N/mm ²) | - | 10.6 | - | 5.0以上 |
| 圧縮強さ (N/mm ²) | - | 39.3 | - | 10.0以上 |
| 付着強さ (N/mm ²) | 標準養生時 | 2.3 | 1.0以上 | |
| | 低温養生時 | 1.9 | 0.7以上 | |
| 吸水量 (g) | 0.5 | 0.5 | 1.0以下 | 2.0以下 |
| 透水量 (mL/h) | - | 0.1 | - | 0.5以下 |
| 長さ変化 (%) | - | -0.08 | 0～-0.15 | |
| 仕上材が複層仕上塗材の場合の耐久性(N/mm ²) | 表面状態 | 割れ、膨れ及び剥がれなし | 割れ、膨れ及び剥がれがない | |
| | 付着強さ | 2.3 | 1.0以上 | |
| 仕上材がセラミックタイルの場合の耐久性(N/mm ²) | 付着強さ | - | - | 0.6以上 |

試験機関：(一財)日本塗料検査協会 西支部

注)上記は試験値であり、品質保証値ではありません。

●本資料について

- 本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。しかし、記載の諸性能及び特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。
- 本資料の記載事項は、予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エルホン・化成工業株式会社

EREWHON

<https://erewhon.co.jp>

| | | | | |
|---------|-----------|-------------------------|--------------------|--------------------|
| ●本社・工場 | 〒870-0141 | 大分県大分市三川新町1-2-23 | TEL (097) 552-2251 | FAX (097) 552-2213 |
| ●いわき工場 | 〒979-3112 | 福島県いわき市小川町上平字中平30-3 | TEL (0246) 83-2600 | FAX (0246) 83-2677 |
| ●大阪支店 | 〒532-0003 | 大阪府大阪市淀川区宮原5-1-3 | TEL (06) 6842-7500 | FAX (06) 6842-7544 |
| ●福岡支店 | 〒814-0151 | 福岡県福岡市城南区堤1-9-10 | TEL (092) 874-6990 | FAX (092) 862-6398 |
| ●関東支店 | 〒224-0003 | 神奈川県横浜市都筑区中川中央2-5-13-3F | TEL (045) 534-9656 | FAX (045) 534-9657 |
| ●仙台支店 | 〒984-0012 | 宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2 | TEL (022) 287-7221 | FAX (022) 287-7222 |
| ●名古屋支店 | 〒463-0048 | 愛知県名古屋守山区小幡南3-5-21 | TEL (052) 758-1889 | FAX (052) 758-1890 |
| ●札幌営業所 | 〒007-0805 | 北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32 | TEL (011) 786-6051 | FAX (011) 786-6052 |
| ●新潟営業所 | 〒950-0963 | 新潟県新潟市中央区南出来島1-10-23 | TEL (025) 280-9282 | FAX (025) 283-6262 |
| ●静岡営業所 | 〒422-8058 | 静岡県静岡市駿河区中原743-1-1F | TEL (054) 270-9380 | FAX (054) 270-9381 |
| ●北陸営業所 | 〒920-0027 | 石川県金沢市駅西新町2-11-25 | TEL (076) 204-9417 | FAX (076) 204-9418 |
| ●広島営業所 | 〒739-1731 | 広島県広島市安佐北区落合2-41-22 | TEL (082) 841-2350 | FAX (082) 841-2360 |
| ●熊本営業所 | 〒861-8045 | 熊本県熊本市東区小山2-14-47 | TEL (096) 237-6557 | FAX (096) 388-6227 |
| ●鹿児島営業所 | 〒890-0082 | 鹿児島県鹿児島市紫原1-51-25 | TEL (099) 284-0533 | FAX (099) 284-0535 |
| ●株式会社 | 〒781-0270 | 高知県高知市長浜5226-13 | TEL (088) 805-2332 | FAX (088) 841-2322 |
| ●株式会社 | 〒791-8042 | 愛媛県松山市南吉田町1450-6 | TEL (089) 974-8225 | FAX (089) 974-8230 |